

科目名	中国語 I		科目コード	CF105	
英文名	Chinese I		科目区分	【共通教養科目】 外国語科目(選択必修)	
担当教員	市川 遥夏	教員コード	134	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日/3時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける	○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探求する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	中国語の発音を中心に勉強する。中国語の挨拶、自己紹介など語句を勉強しながら、中国語だけでなく、中国の歴史や遺産、現代の姿、雄大な自然と工夫を凝らした造形美など多様な側面をもつ中国の社会について学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	中国語の基礎能力を身につけることができる。中国でよく使われる挨拶や日常的表現、基本的な言い回しを聞き取ることができる。自己紹介など、中国語での簡単な会話を行うことができる。簡単な文章を読むことができる。				
授業内容のレベル・関連科目	総合的な中国語の基礎学力を養う。中国語初級レベル。 関連科目:中国語II				
授業外学習(予習・復習)	授業後に学習内容が身につくように復習し、再確認すること。毎回小テストを行うので、指定された部分の漢字・ピンイン・意味を覚えること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間
使用教科書	遠藤光暁監修, 衛榕群・汪暁京著 『入門 ビジュアル中国』 朝日出版社				
参考書・その他教材	早稲田大学商学部中国語教室 『中国語基本単語帳』 朝日出版社				
課題に対するフィードバック	講義中の小テストは、その場で解説する。 最終授業で全体に対するフィードバックを行う。				
成績評価方法	課題への取り組み(50%)、毎回の小テスト(50%)で総合的に評価する。				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	テキストは必ず用意すること。 主体的に学習に取り組むこと。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(ichikawa@aikoku-u.org)				

授業スケジュール

中国語 I

1 回	学習内容 予習 復習	発音1 ピンイン、声調、母音 シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておくこと。 基本的な発音規則と簡単なフレーズを覚えること。
2 回	学習内容 予習 復習	発音2 子音 授業の前に毎回の新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
3 回	学習内容 予習 復習	発音3 鼻音 授業の前に毎回の新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
4 回	学習内容 予習 復習	発音4 軽声 授業の前に毎回の新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
5 回	学習内容 予習 復習	発音の復習 母音、子音、鼻音の発音を暗記すること。 発音1～発音4の練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
6 回	学習内容 予習 復習	第1課 开学第一天 (キャンパス用語) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 キャンパス用語を復習し、単語を暗記すること。
7 回	学習内容 予習 復習	第2課 中华民族园 (常用形容詞) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用形容詞を復習し、単語を暗記すること。
8 回	学習内容 予習 復習	第3課 傣族新年 (期日と曜日) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 期日と曜日を復習し、単語を暗記すること。
9 回	学習内容 予習 復習	第4課 旅游 (家族紹介) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 家族紹介を復習し、単語を暗記すること。
10 回	学習内容 予習 復習	ユニット① コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
11 回	学習内容 予習 復習	第5課 新家 (時間帯と時刻) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 時間帯と時刻を復習し、単語を暗記すること。
12 回	学習内容 予習 復習	第6課 兵馬俑 (常用動詞と目的語の組み合わせ) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用動詞と目的語の組み合わせを復習し、単語を暗記すること。
13 回	学習内容 予習 復習	第7課 西安 (時間の量) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 時間の量を復習し、単語を暗記すること。
14 回	学習内容 予習 復習	総合復習 授業の前に第1課～第7課の単語と文法を暗記すること。 総合復習の問題をしっかりと復習、暗記すること。
15 回	学習内容 予習 復習	課題発表、これまでの内容を振り返る 第1課～第7課の練習問題をしっかりと覚えること。 15回の授業を振り返り、総合復習の問題をしっかりと復習すること。

科目名	中国語Ⅱ		科目コード	CF106	
英文名	Chinese I		科目区分	【共通教養科目】 外国語科目(選択必修)	
担当教員	市川 遥夏		教員コード	134	単位数 2単位
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日/3時限		授業形態 演習
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける	○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探求する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	中国語の語句や基礎文法を勉強しながら、中国語だけでなく、中国の歴史や遺産、現代の姿、雄大な自然と工夫を凝らした造形美など多様な側面をもつ中国の社会について学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	中国語の基礎能力を身につけることができる。中国語のよく使われる挨拶や日常的表現、基本的な言い回しを聞き取ることができる。自己紹介など、中国語での簡単な会話を行うことができる。簡単な文章を読むことができる。				
授業内容のレベル・関連科目	総合的な中国語の基礎語学力を養う。中国語初級レベル。 中国語Ⅰを受講した学生のみ選択できる科目である。				
授業外学習(予習・復習)	授業後に学習内容が身につくように復習し、再確認すること。毎回小テストを行うので、指定された部分の漢字・ピンイン・意味を覚えること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	遠藤光暁監修, 衛榕群・汪暁京著 『入門 ビジュアル中国』 朝日出版社				
参考書・その他教材	早稲田大学商学部中国語教室 『中国語基本単語帳』 朝日出版社				
課題に対するフィードバック	講義中の小テストは、その場で解説する。 最終授業で全体に対するフィードバックを行う。				
成績評価方法	課題への取り組み(50%)、毎回の小テスト(50%)で総合的に評価する。				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	中国語Ⅰを受講した学生のみ選択できる科目である。 テキストは必ず用意すること。主体的に学習に取り組むこと。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(ichikawa@aikoku-u.org)				

授業スケジュール

1 回	学習内容 予習 復習	中国語Ⅰ内容の総復習 発音、第1課～第7課の単語と文法を覚えること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
2 回	学習内容 予習 復習	第8課 上海世界博覧会（中国と日本の都市名） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 中国と日本の都市名を復習し、単語を暗記すること。
3 回	学習内容 予習 復習	ユニット② コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
4 回	学習内容 予習 復習	第9課 国名（常用動詞と結果補語の組み合わせ） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用動詞と結果補語の組み合わせを復習し、単語を暗記すること。
5 回	学習内容 予習 復習	第10課 蘇州園林（中国の世界遺産） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 中国の世界遺産を復習し、単語を暗記すること。
6 回	学習内容 予習 復習	第11課 天壇（北京の観光スポット） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 北京の観光スポットを復習し、単語を暗記すること。
7 回	学習内容 予習 復習	第12課 少林寺（趣味のいろいろ） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 趣味のいろいろを復習し、単語を暗記すること。
8 回	学習内容 予習 復習	ユニット③ コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
9 回	学習内容 予習 復習	第13課 清明节（中国の祝日） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 中国の祝日を復習し、単語を暗記すること。
10 回	学習内容 予習 復習	第14課 在茶馆喝茶（飲み物のいろいろ） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 飲み物のいろいろを復習し、単語を暗記すること。
11 回	学習内容 予習 復習	第15課 京剧（常用疑問詞） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用疑問詞を復習し、単語を暗記すること。
12 回	学習内容 予習 復習	第16課 艺术区（常用可能補語） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用可能補語を復習し、単語を暗記すること。
13 回	学習内容 予習 復習	ユニット④ コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
14 回	学習内容 予習 復習	総合復習 授業の前に第8課～第16課の単語と文法を暗記すること。 総合復習の問題をしっかりと復習、暗記すること。
15 回	学習内容 予習 復習	課題発表、これまでの内容を振り返る。 第8課～第16課の練習問題をしっかりと覚えること。 15回の授業を振り返り、総合復習の問題をしっかりと復習すること。

科目名	日本語 I		科目コード	CF213	
英文名	Japanese		科目区分	【共通教養科目】 第2外国語科目(選択必修)	
担当教員	清水 聖子	教員コード	132	単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	火曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応		1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	◎	3.論理的・批判的なものの見方を養う	○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探求する		6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	プロセス・ライティングの考え方にに基づき、仲間とピア活動(協力)しながら、レポートを完成させる。知る、練る、調べる、絞る、組み立てる、書く、点検する、発表する、振り返るの順にやっていく予定。				
授業の狙い・到達目標	本演習の狙いは、ただ単に調べたことをレポートにまとめるだけでなく、調べたことをもとに、自ら問いを設定した上で、仲間と一緒に考察し、自分自身の意見を作り上げ、根拠を添えながら仲間と議論を深めていくことである。到達目標:①情報を基づいて意見を述べる論証型のレポートを書くことができる。②ピア活動を通じて、「ピア・レスポンス(質問、感想、意見、アドバイスなど、文章を検討するときの発言)」の表現することができる。③アカデミックな口頭発表することができる。				
授業内容のレベル・関連科目	日本語レベルは中上級				
授業外学習(予習・復習)	授業内容をより深く理解するために、予習として、教科書に出てくる意味がわからない漢字や語彙、日本語の表現などがあったら、調べておくこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	大島弥生『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版ープロセス重視のレポート作成ー』ひつじ書房				
参考書・その他教材	教員が都度紹介する。				
課題に対するフィードバック	授業中出された課題など、その都度フィードバックする。				
成績評価方法	課題40%、レポート20%、授業への貢献度40%				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	本演習では、ほとんどの課題はピア活動を通して行っているため、指定された課題は必ずやってくることとなるべく欠席しないようにすることが大事。また、各章の課題は、各自購入した教科書に付随するものに直接書き込むスタイルのため、教科書購入は必須である。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(mail to : shimizu@aikoku-u.org) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。				

授業スケジュール

日本語 I

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクションー授業の目的と内容、授業の進め方などについて学ぶ シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておく 授業の目的・内容、授業の進め方などについて振り返り、理解を深める
2 回	学習内容 予習 復習	この授業で何を学ぶかを知る 教科書の第1章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
3 回	学習内容 予習 復習	レポートの形を知り、アイデアを練る 教科書の第2章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
4 回	学習内容 予習 復習	レポートの形を知り、アイデアを練る 教科書の第2章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
5 回	学習内容 予習 復習	レポートの形を知り、アイデアを練る 教科書の第2章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
6 回	学習内容 予習 復習	構想を練り、情報を調べる 教科書の第3章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
7 回	学習内容 予習 復習	構想を練り、情報を調べる 教科書の第3章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
8 回	学習内容 予習 復習	構想を練り、情報を調べる 教科書の第3章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
9 回	学習内容 予習 復習	テーマを絞りこみ、目標を規定する 教科書の第4章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
10 回	学習内容 予習 復習	テーマを絞りこみ、目標を規定する 教科書の第4章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
11 回	学習内容 予習 復習	テーマを絞りこみ、目標を規定する 教科書の第4章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
12 回	学習内容 予習 復習	文章を組み立てる 教科書の第5章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
13 回	学習内容 予習 復習	文章を組み立てる 教科書の第5章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
14 回	学習内容 予習 復習	文章を組み立てる 教科書の第5章を読んでくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
15 回	学習内容 予習 復習	まとめー振り返り 教科書を読み返す これまでの授業で取り上げた内容についてグループで振り返り、発表する

科目名	日本語Ⅱ		科目コード	CF214	
英文名	Japanese		科目区分	【共通教養科目】 第2外国語科目(選択必修)	
担当教員	清水 聖子	教員コード	132	単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	火曜日/2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応		1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	◎	3.論理的・批判的なものの見方を養う	○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探求する		6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	プロセス・ライティングの考え方にに基づき、仲間とピア活動(協力)しながら、レポートを完成させる。知る、練る、調べる、絞る、組み立てる、書く、点検する、発表する、振り返るの順にやっていく予定。				
授業の狙い・到達目標	本演習の狙いは、ただ単に調べたことをレポートにまとめるだけでなく、調べたことをもとに、自ら問いを設定した上で、仲間と一緒に考察し、自分自身の意見を作り上げ、根拠を添えながら仲間と議論を深めていくことである。到達目標:①情報を基づいて意見を述べる論証型のレポートを書くことができる。②ピア活動を通じて、「ピア・レスポンス(質問、感想、意見、アドバイスなど、文章を検討するときの発言)」の表現することができる。③アカデミックな口頭発表することができる。				
授業内容のレベル・関連科目	日本語レベルは中上級・日本語Ⅰ				
授業外学習(予習・復習)	授業内容をより深く理解するために、予習として、教科書に出てくる意味がわからない漢字や語彙、日本語の表現などがあったら、調べておくこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間
使用教科書	大島弥生『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版ープロセス重視のレポート作成ー』ひつじ書房				
参考書・その他教材	教員が都度紹介する。				
課題に対するフィードバック	授業中出された課題など、その都度フィードバックする。				
成績評価方法	課題40%、レポート20%、授業への貢献度40%				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	本演習では、ほとんどの課題はピア活動を通して行っているため、指定された課題は必ずやってくるようになるべく欠席しないようにすることが大事。また、各章の課題は、各自購入した教科書に付随するものに直接書き込むスタイルのため、教科書購入は必須である。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(mail to : shimizu@aikoku-u.org) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。				

授業スケジュール

1 回	学習内容 予習 復習	組み立てを再検討する 教科書の第6章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
2 回	学習内容 予習 復習	組み立てを再検討する 教科書の第6章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
3 回	学習内容 予習 復習	パラグラフを書く 教科書の第7章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
4 回	学習内容 予習 復習	パラグラフを書く 教科書の第7章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
5 回	学習内容 予習 復習	本文を書きこんでいく 教科書の第8章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
6 回	学習内容 予習 復習	本文を書きこんでいく 教科書の第8章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
7 回	学習内容 予習 復習	引用しながら書く 教科書の第9章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
8 回	学習内容 予習 復習	引用しながら書く 教科書の第9章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
9 回	学習内容 予習 復習	文章・表現・形式を点検する 教科書の第10章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
10 回	学習内容 予習 復習	文章・表現・形式を点検する 教科書の第10章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
11 回	学習内容 予習 復習	発表を準備する 教科書の第11章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
12 回	学習内容 予習 復習	発表を準備する 教科書の第11章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
13 回	学習内容 予習 復習	口頭発表をする 教科書の第12章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
14 回	学習内容 予習 復習	口頭発表をする 教科書の第12章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する
15 回	学習内容 予習 復習	学んだことを振りかえる 教科書の第13章を読んてくる 教科書を読み直し、学んだことを確認する